

# 平成 27 年度 錦田小学校区 第 1 回地域コミュニティ連絡会まとめ

7 月 2 日(木)に開催された「錦田小学校区第 1 回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。まとめができましたので、送付いたします。(市のホームページにも掲載)

問合せ 地域安全課 きずなづくり推進室 (電話 9 8 3 - 2 7 0 8)



ご参加ありがとうございました。

## 【当日参加団体一覧】

団体名		
玉沢町内会	民生委員・児童委員	錦田小学校 PTA
松が丘自治会	錦田地区地域包括支援センター	錦田中学校
谷田城の内自治会	保護司会	谷田子ども会
谷田自治会	錦田保育園	子ども会連合会
ヤリ三島松が丘自治会	私立桜ヶ丘幼稚園	環境美化推進員会
小山台自治会	錦田幼稚園	スポーツ推進委員
東富士見自治会	錦田幼稚園 PTA	体育振興会
竹倉自治会	錦田小学校	消防団第 6 分団

※当日参加者 26 名

## 【地域の情報交換】

～各団体より校区の皆さんへ、情報提供 & ご協力をお願い～

- 体育振興会：トリム教室（毎週金曜日 7:30～9:00、場所:錦田小体育館）やグランドゴルフを実施。80 歳の高齢の方も参加している。気軽に多くの方に参加してほしい。10/4(日)校区運動会開催。ぜひご参加ください。
- 錦田保育園：5 月から一時預かり保育を開始。様々な事情により利用されており、大盛況。育児に疲れた母親など、困っている方の助けになりたい。受け入れは空きの有無によるので、まずは園に問い合わせしてほしい。

### <会場アンケート>

話し合いたいテーマについて、参加者の意向を伺いました。



## 【テーマ別会議】

### 会場アンケートの結果

- ① 登下校時の見守り(交通安全、防犯)について、地域でできる取り組みを考えよう・・・5 人
- ② 老人会や子ども会をサポートしよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5 人
- ③ 災害弱者の支援体制をみんなで考えよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7 人
- ④ 地域で活動している団体同士をつなぐ場について考えよう・・・・・・・・・・8 人
- ⑤ その他・・0 人

※アンケートの結果、テーマ③と④に分かれ話し合いました。

(次頁以降「テーマ別会議まとめ」参照)

参加者の発言内容を「現状・お困りごと」と、課題解決に向けた「解決策・アイデア」に分類しました。

テーマ③

「災害弱者の支援体制をみんなで考えよう！」

主に「高齢者・一人住まい・体の不自由な方」をターゲットとした「地震発生時の支援体制」について話し合いました。

		現状・お困りごと	解決策・アイデア
	高齢者が多い	<ul style="list-style-type: none"> <li>●近所で高齢化が進んでいる。</li> <li>●高齢者が多く、町内会活動がうまくできない。</li> <li>・災害弱者および高齢者が大部分で、避難所も無い</li> <li>・民生委員として孤独死に立ち会った。そこに至る経過で防ぐ方法があったのではないかと思う。</li> </ul>	
現状	組単位での安否確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>●要支援者名簿を自治会長に提出し、組長会で当該者の組内の人に援助をお願いしている。(民生委員)</li> <li>●近所や組内で、一人住まいの方を確認している。</li> <li>●町内6組に各2~3名の防災リーダーを決めて、避難後の確認にあたるようにしている。</li> <li>・まず安否確認。町内で一人住まいの方を確認する体制ができている。</li> <li>・仕組みはないが、隣近所の声かけ。</li> </ul>	
	装備・備蓄 消防団の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●飲料水、リヤカーの準備あり。</li> <li>●消防団では、要請があれば避難所まで連れていく。</li> </ul>	
課題	人材不足 ↓ 個人で できること から始める	<ul style="list-style-type: none"> <li>●平日の日中に家にいる人が限られている。仕事から帰って来れるか問題。</li> <li>●防災道具を揃えたが、高齢者ばかりで使えない。できることが限られる。</li> <li>・防災委員は名前だけ。災害時、防災委員は本部に集合し、町内には不在。</li> <li>・若い人や動ける人がいない。支援体制作りは難しい。</li> <li>・老人会がなくなった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人によってできることから始める(黄色いハンカチなど)。</li> <li>自分→家族→近所→組→町内会とだんだんと助ける範囲を広げていく。</li> <li>・「自助、互助、共助」+「近助」の考え方が大切ではないか。</li> <li>・老人会があれば、会員の情報は把握できる。町内の役員会ではできない支援や、役員のフォローができるのでは？</li> </ul>

		現状・お困りごと	解決策・アイデア
課題	個人情報の収集 ↓ 常に新しい情報に更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>●誰がどこに住んでいるのか知らない。救助する時わからない。</li> <li>・町内の役員だけでは弱者は分からない。</li> <li>●防災名簿の作成に協力してくれない人がいる。どのように作成しりたいのか？</li> <li>●月1回は集まって話し合いや訓練をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●協力してくれない人には、せめて黄色いハンカチで自分の安否を示してもらうように働きかける。</li> <li>●各組長を通して、毎年名簿の更新を実施している。組長に名簿の写しを渡し、たえずチェックし会長へ報告。</li> <li>●定期的な会合の中で、色々な情報が出る。</li> </ul>
	幼児の支援 (幼稚園の防犯)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で身を守る事ができない幼児を災害時に地域で支えていただきたい。</li> <li>●幼稚園では防犯が心配。不審者の侵入に対して、女性だけでは瞬時に対応できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣のセブンイレブンの協力、自治会との協力が必要。</li> <li>・大人が幼稚園の周辺を歩きパトロールなど、普段から犯人を寄せつけない工夫。</li> </ul>
	避難所の問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難する場(広場)がない。</li> <li>・避難所に行くのが大変。</li> </ul>	

### 今回の話し合いから生まれた課題解決に向けた取り組み案

- ◇高齢者が多く、さらに日中は支援できる人が少なく、体制づくりは難しい。人や状況によってできることは異なるので、まずは個人でできることから始めよう！
- ◇活用できる防災名簿となるように、組長によるこまめな確認や定期的な会合の場を利用するなどして、常に新しい個人情報の更新に取り組もう！
- ◇幼稚園の防犯対策について、地域が協力できる対策を具体的に検討してみよう！



今回の話し合いで出された意見を参考にして、  
各団体や各町内会で課題解決に向けて取り組んでみよう！  
次回の地域コミュニティ連絡会で、進行状況の確認ができるといいね！

<b>テーマ④</b>	<b>「地域で活動している団体同士をつなぐ場について考えよう！」</b>
-------------	--------------------------------------

「情報共有」と「子どもを軸にしたつながりの場」について主に話し合いが進みました。

		現状・お困りごと	解決策・アイデア
情報がほしい		<ul style="list-style-type: none"> <li>●どんな団体が有るか、よく知らない。</li> <li>・何をしているか分からない。</li> <li>・各団体が独自で活動していてよく分からない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●まず知ること。</li> <li>●お互いの活動を知り、助けあえないか？</li> </ul>
情報を知らせたい		<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域に活動内容を知らせたいが、知らせるにはどうしたらいいのか？</li> <li>・どんな方法や場を利用したらいいのか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の活動内容を知ってもらい、取り入れる。</li> </ul>
情報発信の方法	回覧版の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●まずは園便りを配ることを始めたい。(錦田保育園)</li> <li>●学校便りを錦田中学校では約 580 枚、錦田小学校では約 180 枚印刷し、校区内の自治会回覧版で回してもらっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校の協力を得て、園便りも一緒に回覧版に入れてもらう。</li> </ul>
	既存の会議の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●定期的な会合は貴重な機会。必ず参加するようにしている。</li> <li>・忙しい中、参加することは大変。</li> <li>・現在「つなぐ場」はいくつかある。問題なのは、そこに参加する時間や会の目的などについて克服する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●定期的な会合を利用する。</li> <li>●魅力的な内容の会議にしないといけない。</li> <li>●お互いの活動と困っている事を理解できるようにプレゼンテーション(発表)の場を作ったらどうか？</li> </ul>
子どもと地域の関わり		<ul style="list-style-type: none"> <li>●小さい子を持つ親は、地域との接点がない。</li> <li>・学校、PTA は地域から支援を受けるばかり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代が高齢者(先輩)に子育ての知恵を伝授してもらう。</li> <li>・学校支援地域本部を立ち上げる。</li> <li>・地域の団体の方を招いて子どもたちと関わる。</li> <li>・生徒と一緒に地域の為に活動していくことが大切。</li> <li>●子ども会に入っている子は、どこの子か分かる。</li> </ul>
子どもと高齢者の接点を作る		<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもたちと高齢者が接する場が必要。</li> <li>・町内会員の高齢化。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●誰もが集える場があると良い。</li> <li>・老人会を作る。子ども会をつぶさない。</li> </ul>

		現状・お困りごと	解決策・アイデア
子ども会の存続	子ども会をサポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子ども会に入る子が少ない。子ども会が消滅の危機。</li> <li>・昔は子ども自身がやっていた。今は母親を頼りすぎ。親の会になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市子連（三島市子ども会連合会）に相談してほしい。頼ってほしい。</li> <li>●子どものための会にしたい。</li> <li>・市子連では7月から親の意見を聞く会を設け、今後の子ども会運営等について検討を図っていく。</li> </ul>
	子ども会をなくさない方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>●親の負担を減らす。</li> <li>●子ども会会員募集。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事を減らす（廃品回収年4回→年3回に減らした）</li> <li>・自治会に手伝ってもらおう。</li> <li>●多くの親に子ども会の必要性を感じてもらおうことが大事。</li> </ul>
気軽に集える場づくり		<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館のような施設があると良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本を持参しお互い読み聞かせや読書など、子どもと老人の交流の場にもなる。</li> <li>・公民館のような身近な場所を常にオープンにしておき、気軽に集まると良い。</li> </ul>
その他 (つながりが 必要な活動)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所運営委員会の活動を進める。</li> <li>・地域防災の訓練の一部を園児達の前で実演してもらおう。園の施設を知ってもらい、園児達には訓練を知らせることができる。(錦田保育園)</li> <li>・地域で防犯訓練。</li> <li>・車のマナー、登下校時の防犯、交通安全対策。</li> </ul>

## 今回の話し合いから生まれた課題解決に向けた取り組み案

- ◇お互いの活動を知り、助け合える関係を作ろう！その為には回覧版や既存の会議を積極的に活用し、会の目的・課題など情報を発信していこう！
- ◇会員数が減り消滅危機の子ども会のサポートや、小中学校・公民館などで子どもを軸とした交流の場づくりに取り組んでみよう！

今回の話し合いで出された意見を参考にして、  
各団体や各町内会で課題解決に向けて取り組んでみよう！  
次回の地域コミュニティ連絡会で、進行状況の確認ができるといいね！



